

令和4年度第3回 江別市子ども・子育て会議要旨

日 時：令和5年2月20日（月）10時～

場 所：保健センター会議室

出席者：江別市子ども・子育て会議委員8名

藤野友紀会長、石塚誠之委員、太田まど香委員、小倉ちひろ委員、齊藤圭子委員、
常盤忠明委員、守屋環委員、若林卓実委員

江別市（事務局）10名

白崎健康福祉部長、東子育て支援室長、
宮崎子育て支援課長、天野子ども育成課長、竹内子育て世代包括支援担当参事、
須藤子ども育成課給付係長、本田子育て支援課子ども家庭係長、
今野子育て支援課子ども家庭係主査、澤田子育て支援課子ども家庭係主査、
菅原会計年度任用職員

傍聴者：1名

○次第

1 開会

2 議事

報告事項

①令和5年度予算（案）について

②第2期江別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果について

協議事項

第2期江別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（案）について

3 その他

4 閉会

3 議事

○藤野会長

次第2の議事に入ります。協議事項①『令和5年度予算（案）について』、事務局から説明をお願いします。

○今野子育て支援課子ども家庭係主査

令和5年度江別市当初予算案について、子どもに係る部分について説明します。

資料1-1「令和5年度絵で見る江別市予算案」をご覧ください。こちらの資料は、市全体の予算案のうち、子どもに係る事業を抜粋したものです。その中で、新規や拡大を予定している事業について説明します。

資料20ページをお開きください。子育て・教育に関する事業ですが、全体で90億4,215万4千円となっており、前年と比較し2億3,281万円、2.5%の減少となっております。令和5年は4月に市長選挙が予定されていることから、年度当初予算は骨格予算であるため、令和4年度以前から予定していたものや、国の制度改正等に基づき、当初予算での措置が必要なものに限って計上しております。

はじめに、上から2段目「民間社会福祉施設整備費補助事業」ですが、民間事業者が行う教育・保育施設の整備に対する補助事業です。令和5年度は、新たに、保育所等における熱中症対策として、エアコン設置のための補助を実施し、子どもを預かる場所の環境整備に努めます。

次に、下から2段目右側の「出産子育て応援交付金事業」ですが、国の制度と連携して出産・子育て応援交付金を支給するほか、妊婦との面談機会を増やし、妊娠・出産・育児に係る母子の負担軽減を図る事業です。後ほど、別紙資料を用い、本日出席しております保健センター担当職員から詳しく説明します。

その下、「子どもの生活実態調査事業」ですが、子育て支援政策の基礎資料とするため、子どもの生活実態や貧困に関する調査を実施します。調査の設問等については、今後、子ども・子育て会議でご意見をいただきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

21ページをお開きください。中段「小中学校ICT環境整備事業」では、校務の効率化のため、小・中学校の校務用と指導用の端末を統合するなど、教育環境の整備を支援します。

22ページをお開きください。一番上「放課後児童クラブ運営費補助金」ですが、民間放課後児童クラブへの運営費に係る補助事業です。令和5年度に新たに運営を開始する放課後児童クラブ2か所分を見込んでおり、保護者の就労支援と子どもの安全・安心な居場所の整備を進めます。

次に、中段左側の「子育てひろば ぽこあぽこ改修事業」ですが、より多くの子どもたちに楽しんでいただけるよう、大型遊具の更新やクッション性の高いフロアへの更新など、開設10周年を契機としたリニューアルを実施します。

一段下右側の「市内高等学校・大学教育助成事業」は、令和4年度に創設した市内大学・高校を応援するためのふるさと納税による寄附を活用して、市内大学・高校への助成を実施するものです。

新規や拡大を予定している事業を中心に説明しましたが、その他の主な事業についても22ページ最下段に記載していますので、後ほどご参照ください。「子育て・教育」は、現在の江別市総合計画の柱の一つであることから、引き続き、子育て施策の充実に努めてまいりたいと考えています。

○竹内子育て世代包括支援担当参事

出産・子育て応援給付金について私から説明します。

資料1-2をご覧ください。昨年10月に国の物価高克服経済再生実現のため総合経済対策が閣議決定され、その中で出産子育て応援交付金事業が創設されました。事業の概要は、妊娠届出や出産届出を行った妊産婦等に対して妊娠期から出産子育てまで一貫して、身近な伴走型相談支援と妊娠、出産関連用品の購入費の助成や産後ケア、一時預かり等の利用負担軽減を図る経済的支援を一体として実施するもので、当市においても国の事業を活用し、「えべつ☆うえるかむ赤ちゃん事業」と称して、令和5年3月1日から事業開始予定で実施に向けて準備を進めています。

まず、事業の目的ですが、伴走型相談支援によって、専門職が妊娠、出産、子育ての見通しをもった面談を実施し、妊産婦や子育て家庭の不安軽減に努めます。また、面談後の経済的支援によって、妊娠出産関連用品の購入や必要なサービス等を利用しやすくすることで、妊娠中や育児中の負担を軽減し、江別で生まれるお子さんの健やかな成長を応援する事業となっています。

具体的な事業内容としては、資料下段の表をご覧ください。3本の柱があり、原則対面にて妊娠届時と、妊娠8か月前後、出産届出後のタイミングで計3回面談を予定しています。面談実施後に職員が申請案内を行い、合計10万円の現金を支給する形となります。支給のタイミングは、まず妊娠届時の面談後、妊婦一人あたり5万円、出産届出後の面談後児童一人あたり5万円を後日指定口座に振り込みます。令和5年度の支給対象者のうち妊娠届分は619人、出産届出分が639人を予定しています。

本事業は、令和4年度に補正予算にて開始し、今後継続して実施するものです。令和5年度の予算は、8,652万6千円を予定しています。なお、令和4年4月1日以降に妊娠届出をした妊婦の方、児童を出産した養育者の方については、本事業の対象となり、事業開始日後にご案内アンケート、申請書等を個別に通知予定です。

○藤野会長

ありがとうございました。ただいまの説明について質疑をお願いします。

○若林委員

説明の中にはなかったのですが、待機児童解消対策についてお伺いします。保育士確保についての施策をしていただけていますが、いまだに江別市内の保育士不足が深刻であると伺っています。例えば石狩市で先行して実施している保育士等就職奨励金などの事業を、今後市として採択するような検討はあるのか、また新市長が就任をされてからという含みがありました。その中にそういったものを組み込む考えがあるかどうかを伺います。

また、ぽこあぽこの改修事業は、遊具等の一新と記載されていますが、面積は変わらないのか、また、出産子育て応援給付金について説明がありましたが、江別市の周産期医療については今どのような状況になっているのか、まだ出産ができる病院は市立病院のみなのか、今後の検討があるのか3点お伺いします。

○天野子ども育成課長

まず、待機児童解消対策事業ですが、主体となる部分は令和2年度からスタートし、保育士等奨学金返還支援事業と、保育士等アパート借上支援事業の2つが、事業者からの要請により保育士確保のために導入した事業です。当初はなかなか事業者の利活用がありませんでしたが、今年度新設した新規園も含めて利用がどんどん進んでいます。

ただ、実施園が既存園までに広がっていない状況で、令和2年度から導入した制度をまだ利活用する余地があるのではないかと考えています。確かに、石狩や恵庭においては支度金等の保育士の確保策があるのですが、支度金を支給した後の継続性があるのかなど検討事項があることから、新年度においては、新規の保育士確保対策事業の新たな展開は考えていません。

まずは、既存事業の中で利用を進めていただき、保育士確保を進めていただきたいと考えています。新市長後の対応については、他市で実践している事業等も含めて検討していくことになるかと思えます。

ぽこあぽこの改修事業につきましては、面積等の拡張等は考えておりません。大幅な遊具・玩具等の整備を予定しています。

○竹内子育て世代包括支援担当参事

江別市の周産期医療について、私は所管部署ではありませんが、江別市内には、産科婦人科が江別市立病院とプリモウィメンズクリニックの2件あります。出産できる病院は江別市立病院1か所となり、江別市民の約半数は市立病院で出産されるという形になっています。それ以外の方については、厚別や清田方面など、少し遠くても自分の理想に合った札幌の病院を選ばれているのが現状となっています。周産期医療の今後については、地域医療等の部署との関係もありますので、今後検討していきたいと考えております。今のところ産科が増えるという見通しはありません。

○齊藤委員

たくさんの項目がある中で、放課後児童デイサービスや、発達支援サービスが入っていないのですが、どこかに含まれているのか、もし含まれていないのなら、この10年位の間に事業所が多数開業し、基本目標に入っている子育て家庭への支援になっていると思います。含まれていない理由があるのか教えてください。

○宮崎子育て支援課長

ご質問のありました放課後等デイサービスとか児童発達支援の事業については、本資料の政策06子育て・教育ではなく、障がいの部門に自立支援給付費という事業に含まれる

形で記載されています。今回提出した資料は、令和5年度絵で見る江別市予算案の一部を抜粋したものです。これ以外の部分については、ホームページ上に掲載されていますのでご覧いただくか、もしご覧いただけない場合は、別途対応します。

障がいや発達の遅れがあるお子さんに対しては、早期療育が必要と考えていて、ここ10年ほど事業所が増えてきている状態です。今後も発達支援の必要なお子さんに対しては、療育が行えるような体制を整え、また、予算についても対応していきたいと考えています。

○齊藤委員

福祉の方に入るということでもいいですか。

○宮崎子育て支援課長

そのとおりです。

○藤野会長

これに関連して、特別支援教育推進事業、特別支援学級生活介助事業は、子育て・教育に入るということでもいいですか。

○宮崎子育て支援課長

教育部で所管している特別支援教育にかかる予算となり、そのため教育の部分でこちらに記載されています。

○石塚委員

放課後デイサービスや発達支援については、車両の安全対策の支援が国の方で方針を決めて整備していると思います。車両の安全対策の支援は、江別市の方でもしっかり整備していただけたらと思います。また、スクールソーシャルワーカー事業については記載されていますが、スクールカウンセラーについては記載されていませんが、関係する予算等が組まれているのか教えてください。

また、特別支援の関係で教育委員会の方で専門家の先生に発達検査や、見立てをする仕組みを進めていると思いますが、学校の先生に聞くと依頼をしても、半年かかったりなど待たされると話を聞き、また、専門家の先生に話を聞くと検査をして所見を書いてフィードバックをしてかなり時間と労力がとられるため、協力はしたいけど、スクールカウンセラーでお願いされたりとか、その負担に対してのお金が安いというわけではないが、もう少し大事にしてもらおうと働きやすいという話をしていたので、なにかしらの予算が組まれるのであればお互いにメリットが大きいかなと思いました。

○宮崎子育て支援課長

ご質問ありがとうございます。スクールソーシャルワーカー事業とは別にスクールカウンセラーに関してのご質問とご意見と承りました。今日事務局として教育部の職員が出席していないので、詳しいことについては把握していませんが、今回の資料はあくまで抜粋

ということで、これ以外にも多数の事業予算が生まれ、それに基づき事業が執行されています。

スクールソーシャルワーカー事業は載っていますが、スクールカウンセラー事業についてはまた別途予算組みがされ、申し訳ありませんが、今回お手元に配っている資料には記載されていません。江別市の巡回相談の体制としては、未就学のお子さんの他に、教育委員会が就学児向けの巡回相談を実施し、委員がおっしゃるように、検査自体にかなり時間がかかるうえ、それに対しての所見を作成するということで、巡回相談に携わっている専門家チームの先生方の負担が高くなっているということは私どもも聞いています。それがスクールカウンセラーの方に一部しわ寄せがいつているような部分もあるというお話なので、今日いただいたご意見を教育部にフィードバックしていきたいと考えています。

○小倉委員

20ページの民間社会福祉施設整備費補助事業で先ほど説明のあった新規で保育所における熱中症対策事業補助としてエアコン設置補助とありましたが、現在保育所等でエアコンが設置されている保育所は何割ぐらいあるのか、また、ないところに設置するのか、あるところにも増設するのかが気になったので教えてください。

また、うえるかむ赤ちゃん事業ですが、現金5万円と出産後の5万円で10万円支給ということですが、あくまで現金の支給という形で、ギフトボックスのような物のプレゼントは検討していないのか教えてください。

○天野子ども育成課長

民間社会福祉施設整備費補助事業について説明します。保育所の整備や認定こども園の整備にかかる事業が主なもので、今年度も大麻ひかり幼稚園が認定こども園化するために4億円以上の事業を展開しています。次年度については、大規模な施設整備はありません。国のメニューにより2年ほど前から追加された熱中症対策補助事業で、エアコンの設置について補助ができることになりました。こちらについては、事業者の負担もあるので、全額が補助されるというものではありません。また、全市内の保育・教育施設のエアコンの設置状況については把握しておりません。新年度設置の意向があるかどうか調査した中において、4事業所ほどエアコン設置の希望があり、そちらの事業所に対して補助を予算化している状況です。

○竹内子育て世代包括支援担当参事

2点目のうえるかむ赤ちゃん事業の10万円の現金支給の件ですが、ギフトボックス等の物によるプレゼントはないのかということですが、国でも交付金事業を始める際に、貯金ではなく、子どものために使われるようにという趣旨がありました。例えば商品券、電子クーポン、カタログギフト的なものなど、用途をはっきりさせる必要があります。

去年の10月にこの事業が創設され、短い準備期間の中で、市民の使い勝手を考え、利用者目線から、江別市はまずは現金給付ということを選択したところですが、この事業は継続的に実施するといわれていますので、その中でどのような支給がこの事業としていい

のか今後検討していきます。

また、市町村によってはギフトボックスとかおくるみやベビー服をセットにしてプレゼントしている所もあるのですが、江別市としては単独でそういう事業はしておらず、検討もしていません。

○藤野会長

他に質問等ありますか。よろしいですか。

では概ね質問が出尽くしたようですので、次の内容に移りたいと思います。

次に次第2の議事(1)の報告事項②『第2期江別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し(案)に対する意見募集(パブリックコメント)の結果について』、事務局から説明をお願いいたします。

○今野子育て支援課子ども家庭係主査

第2期江別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し(案)に対する意見募集(パブリックコメント)の結果について説明します。『第2期江別市子ども・子育て支援事業計画中間見直し(案)意見募集(パブリックコメント)の結果について』をご覧ください。

市民意見の募集は、令和4年12月26日から令和5年1月25日まで行いました。意見の募集結果ですが、1名の方から1件の意見が寄せられています。意見の反映結果は5区分あり、AからEまでに分けられます。Aは意見を受けて案に反映したもの、Bは案に意見の趣旨が既に盛り込まれていると考えるもの、Cは案に反映していないが今後の参考とするもの、Dは案に取り入れなかったもの、Eはその他の意見であり、今回いただいた意見は区分Eとしています。それではいただいたご意見とそれに対する市の考え方について説明します。

連番1については、新型コロナウイルスの感染リスクの高い子世代に対して、事業の一環として、コロナ禍独自支援のあり方を模索する必要があるとの意見です。今回行ったパブリックコメントは、幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業に関する量の見込みと提供体制を定める中間見直しへの意見募集となっていることから、この意見については区分E「その他の意見」とし、計画自体への反映は行いませんが、これまでも教育・保育施設において新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら各種取組を実施しているところであり、いただいたご意見は、国の動向を踏まえながら、教育・保育施設における今後の新型コロナウイルス感染症対策を検討するうえで、参考とさせていただきたいと考えています。

また、取りまとめた結果については、市のホームページ、各公民館などで公表するとともに、後ほど説明します中間見直しの資料にも記載する予定です。

○藤野会長

ありがとうございました。ただいまの説明について質疑をお願いします。

質疑なし

○藤野会長

質疑がないようですので、次の内容に移りたいと思います。次に次第2議事の(2)協議事項『第2期江別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し(案)について』、事務局から説明をお願いします。

○今野子育て支援課子ども家庭係主査

資料2の「江別市子ども・子育て支援事業計画中間見直し(案)」をご覧ください。今回の中間見直し(案)は、最終案となります。

中間見直し(案)については、先ほど説明しましたが、パブリックコメントでの意見は、中間見直し(案)に反映させる内容ではありませんので、前回の子ども・子育て会議でご協議していただいたものから変更はありません。

本日は、新たに追加した資料について、委員の皆様的一致が得られれば、中間見直しに係る協議は終了させていただければと思います。よろしくお願いします。

今回、追加した資料の部分は、資料2の12ページからとなります。

13ページに(1)江別市子ども・子育て会議委員名簿、14ページに(2)計画見直しの経緯、15ページに(3)市民意見募集の結果概要を追加したものとなっています。詳細は資料をご確認ください。

○藤野会長

ありがとうございました。ただいまの説明について質疑をお願いします。

質疑なし

○藤野会長

それでは、第2期江別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し(案)については、事務局からのご提案どおりということによろしいですか。

意見なし

○藤野会長

それでは、そのように承認します。

次に、次第3『その他』について、委員の皆様から何かありますか。大丈夫ですか。

特になければ、事務局から何かありますか。

○宮崎子育て支援課長

本日で第2期江別市子ども・子育て支援事業計画中間見直しに係る協議は終了となります。今後、内部手続きを経て、中間見直しを確定させた後、中間見直し版を印刷し、市民や事業所等の関係機関に周知するため、市内公共施設での閲覧やホームページへの掲載などを行う予定です。

次回の会議の日程についてですが、少し期間があきますが、夏頃に開催を予定しています。会議が近くなりましたら、委員の皆様に、事前に日程調整をさせていただく予定です。

○藤野会長

ただ今の説明について委員の方から質疑がありましたらお願いします。

質疑なし

○宮崎子育て支援課長

今回の会議で、まず、第2期江別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しに関して一区切りとなりますので、最後に、事務局を代表して健康福祉部長の白崎より挨拶させていただきます。

○白崎健康福祉部長

第2期江別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの節目となりますし、おそらく今回が令和4年度の最後の開催となるかと思えます。事務局を代表し一言お礼申し上げます。

「第2期江別市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しについて、先ほどご承認をいただきました。この計画は令和2年度からスタートしていますが、今回の中間見直しの内容としては、今後の人口推計等から、教育・保育の提供体制や子ども・子育て支援事業における量の見込みを修正し、保育の提供体制を拡大する内容です。これは就労形態の多様化や女性の社会進出などにより、子育てニーズが変化していることによるものと考えています。委員の皆さまにおかれては、昨年8月29日の令和4年度第1回子ども・子育て会議の開催から、6か月間・3回にわたり、それぞれのお立場から、様々な観点で貴重なご意見を賜りましたこと改めて感謝を申し上げたいと思います。

当市においては、2016年から年少人口を中心に転入者数が転出者数を上回る社会増が続いていましたが、2021年5月以降減少傾向となりました。しかしながら、年少人口の転入超過数は高い水準を維持しており、2022年の全国市町村の転入超過数は378人で前年の18位より順位を若干上げ、全国16位となったところです。

転入増加については、様々な要素があるものと思いますが、子どもの転入超過が続いていることは、本市の子育て支援施策が一定の評価をいただいているものと考えているところです。今後においても、この流れが続くよう、ニーズの変化に的確に対応しながら、子育て支援の充実に取り組んでまいります。

委員の皆さまにおいては、引き続き当市の子育て支援施策に対して、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げ、簡単ではありますが、お礼のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

○宮崎子育て支援課長

続きまして、藤野会長から一言ご挨拶をお願いいたします。

○藤野会長

皆様お疲れ様です。この間何回か集まって、議論をしてきた訳ですが、皆さんとても積極的にたくさんの質問、ご意見を出していただいて、いい会議にできたと思います。いろいろ疑問に思ったことや、様々な立場から小さいと思われることでも全然小さくはないので、質問していただくことにこの会議に存在意義があると思っています。今後ともぜひよろしくをお願いします。

それでは、本会議で予定している事項についてはすべて終了しました。次は来年度夏頃ということでまたどうぞよろしくお願いします。以上で令和4年度第3回子ども・子育て会議を終了します。